

(図2)

関係会社でグループ適用を受けて雇用率を確保している場合もあります。特に大きな企業だと沢山の関連会社を持っています。それぞれの会社がノウハウのない中で独自で障害者雇用を進めるよりも、ノウハウのある会社を中心に協力し、子会社を作って雇用を進めて行く、こういうやり方もあります。

特例子会社のメリットは、設備等に集中投資できますから、効率的な設備管理ができるということになります。それから、障害のある人達に配慮した業務設計と、マネジメントが出来る。これは、働く本人達にとっても安心出来る環境が整うため、良いことです。

特によく言われるのは、「一般企業では、自分はこの役割しか任せてもらえないけれど、特例に転職したところ、期待される環境が整うため、良いことだ。」

特例子会社が頑張ることで雇用を進め、雇用率安全水域になると、特例子会社設立当初の目標が忘れていきます。その経緯で見えてくるのは、赤字がなかなか改善出来ないことです。そうしている内に子会社設立当時の親会社側役員が替わったりした場合、「なぜこんな効率の悪い会社をいつまでも作っておくのか？」という疑問をもつ人が出てきます。

特例子会社の場合には、『従業員の20%以上を障害者で占めていなければならぬ』と、法律で規定されています。一般の会社であれば、規定は2%ですから、荒っぽい言い方をすれば、98人の障害の無い人の業務を一部ワークシェアすれば、2人の障害者雇用が「なんとなく」出来てしまう。しかし、特例子会社の場合には、従業員の20%以上の障害者を雇用しないといけません、担っている仕事は極めて労働集約的な、さ

待されて任されるようになった。やっと自分も仕事をしているという実感が持てるようになった」ということ。「そこに行けば同じような障害のある仲間がいて安心して働ける」という安心感もあります。こうした意味ではメリットが沢山あります(図2参照)。現にこのことが立証されてきたことにより、東京を中心に全国に特例子会社が広がってきた訳です。

**一方でデメリットも…**

私、特例子会社で雇用を進め、雇用率安全水域になると、特例子会社設立当初の目標が忘れていきます。その経緯で見えてくるのは、赤字がなかなか改善出来ないことです。そうしている内に子会社設立当時の親会社側役員が替わったりした場合、「なぜこんな効率の悪い会社をいつまでも作っておくのか？」という疑問をもつ人が出てきます。

特例子会社の場合には、『従業員の20%以上を障害者で占めていなければならぬ』と、法律で規定されています。一般の会社であれば、規定は2%ですから、荒っぽい言い方をすれば、98人の障害の無い人の業務を一部ワークシェアすれば、2人の障害者雇用が「なんとなく」出来てしまう。しかし、特例子会社の場合には、従業員の20%以上の障害者を雇用しないといけません、担っている仕事は極めて労働集約的な、さ

る人たちの中で、どちらの割合でも圧倒的に緑が増えていることにお気づきになると思います。

今から20〜30年前までは、精神の疾患があるということを隠していた時代でした。治療にかかっていることが周囲にわかると将来にマイナスの影響が出るのではと恐れ、治療に逡巡するのも普通でした。しかし今は、東京では渋谷や恵比寿、新宿など都心部にもメンタルクリニックがあり、誰もが気軽に相談にいくという社会的理解が進んでいます。

2018年、法定雇用率の計算式に、精神の手帳をお持ちの方が加わります。この結果、法定雇用率が上がります。一方で、日本の人口は減りはじめ、新しく生まれてくる子どもの数も増えていません。法定雇用率引き上げの要因となります。

これを聞くと、大変だと思ふ企業の方もあっていいでしょう。しかし、これからは、

して高いお金も取れない仕事を中心になつてくると、黒字に転換するということも余程のことがない限り出来ません。その事をちゃんと知っておいて、特例子会社を検討しないといけないだろうと私は思います。

親会社と子会社が一緒になって、そのグループ会社の健全な運営を進めるために、親会社が常に理解を図り、支援をしていく必要があります。

**特例子会社に期待されること…**

私は、特例子会社が雇用率を改善するというのは役割の一つではあるものの、他にも特例子会社にしかできない役割を担い、価値を発信することができると思っています。それは何かというと、これから企業、特に小規模な企業が直面する、新たに労働力を調達することが難しい時代への対応です。

障害のある人たちの雇用と戦力化の為に、障害者と接した経験の浅い親会社側だけではカバーできないことがあると思います。むしろ特例子会社だからこそ、障害のある人たちの強みや個性を上手く活かした職域設計が出来ます。また、グループ形成をされている企業があるとすれば、特例子会社で培ったノウハウを関連各社に伝え、障害者雇用を支援していけます。このように考えていくと、実は雇用率を達成するというの

# 特例子会社から見える障害者雇用

～障害者雇用を成功に導くために～

奈良県障害者政策推進トップフォーラムでの講演  
NPO 法人障がい者就業・雇用支援センター  
理事長 **秦 政** (はた まこと)

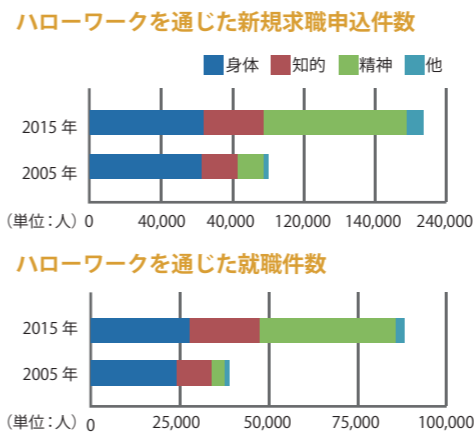


奈良県では、障害のある人が誇りをもって人生を歩むことができ、誰もが社会の一員として包み込まれお互いに支え合う地域社会の実現を目指し、県内各界のトップが障害者の課題を共有し、取組を推進できるよう「奈良県障害者政策推進トップフォーラム」を開催しています。

本年度は9月6日に開催し、NPO法人障がい者就業・雇用支援センター理事長の秦政先生にご講演をいただきました。この講演内容を紹介します。

## 障害者雇用の環境の変化 「働きたい」人たちの爆発的な増加

障害者雇用の環境の変化について、2005年と2015年を比較してみよう。図1のグラフでは、青の数字が身体、赤の数字が知的、緑が精神です。



(図1)

ハローワークに障害者であることを開示して求職をする人たちや、就職をする

人たちの割合でも圧倒的に緑が増えていることにお気づきになると思います。

今から20〜30年前までは、精神の疾患があるということを隠していた時代でした。治療にかかっていることが周囲にわかると将来にマイナスの影響が出るのではと恐れ、治療に逡巡するのも普通でした。しかし今は、東京では渋谷や恵比寿、新宿など都心部にもメンタルクリニックがあり、誰もが気軽に相談にいくという社会的理解が進んでいます。

2018年、法定雇用率の計算式に、精神の手帳をお持ちの方が加わります。この結果、法定雇用率が上がります。一方で、日本の人口は減りはじめ、新しく生まれてくる子どもの数も増えていません。法定雇用率引き上げの要因となります。

これを聞くと、大変だと思ふ企業の方もあっていいでしょう。しかし、これからは、

は一つのミッションに過ぎません。グループ全体の経営効率を高めること、人材を育てること、将来に備えた準備をすることが、この特例子会社の可能性として十分にあるのだと思っています。

少なくとも、私はそうしてきました。ですから特例子会社をお作りになるのなら、もちろん雇用率改善という共通認識を持った上で、将来に向けての価値発信をしてください。そうすれば、特例子会社で働く人たちが誇りをもてます。

**障害者雇用の本質とは**

「夢を持って会社に入ったものの、実際は必ずしも自分の意に添わない仕事であったとしても、それはしょうがない。しかし、改めて会社の姿勢を見ていくと、会社が欲しかったのは、自分の労働力ではなく、実は自分が持っている障害者手帳のポイントだったのだ」ということに雇用された人たちが気づけば、その瞬間に働くモチベーションは急速に低下します。当たり前です。「あなたに期待するよ」と言ってくれていたはずなのに、本当はそうではなかったのですから。そうではなく、「あなたに頑張ってもらいたい。あなたの力を借りたいのだ」ということを言い続けながら成長を促して行く。これが障害者雇用の本質なのだと思っています。

## 講師プロフィール



秦 政 (はた まこと)

NPO法人 障がい者就業・雇用支援センター理事長  
(東京都中央区築地1-2-1)  
独立行政法人労働政策研究・研修機構講師  
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構講師  
京都市障害者雇用促進推進会議委員  
秦コンサルティングオフィス代表  
※障がい者雇用全般に関わるコンサルティング・講演多数

著書  
「ケースで学ぶ障がい者雇用促進支援講座」  
「特例子会社設立マニュアル」  
「特例子会社運営マニュアル」  
「障がい者雇用促進のための119番」  
「精神障害者のためのQ&A」  
「2012年度版就業支援ハンドブック」ほか多数





バックヤードでは湯飲みを洗ったり、ポットのお湯を補充。



宿泊客が退出した部屋の備品を一度すべて出し、再び整える。使用済みのものを取り換えたり、綺麗に並べたり。その後、川喜田さんがチェックする。



最近は浴衣の帯をたたむ仕事も増えた。カラフルな浴衣を何度でも着替えられるのが三笠独特のサービス。

古本屋さんが好きで、休みの日にはよく行っています。料理の本などが好きです。  
**橋尾さんに聞きました。**



仕事を始めた頃に川喜田さんが作成した手書きのマニュアル。



川喜田瞳さん(左)と橋尾真理さん(右)



葛井信宏部長(上)  
寺田吉久課長(下)



一年以上が経った今では、入社時より広

く」と任せられました。「実は、娘が福祉の大学を卒業していますし、姪もソーシャルワーカーなんです。その関係で、お話としてはいろいろと聞いていたことがありましたけれども、実際に障害のある人と一緒に働いた経験はありませんでした」と言います。

しかし、川喜田さんの指導ぶりには、支援したジョブコーチも感心したという経緯がありました。仕事を始めて間もなく、川喜田さんは、橋尾さんのすべきことをリストにした手書きのマニュアルを作成。仕事は簡単なことからスタートし、橋尾さんが作業した後、川喜田さんが必ずチェック。話し方も工夫し、もし同じ失敗を繰り返すことがあっても、決して「前にも言ったでしょう」という言い方はせず、橋尾さんの気づきを促し、繰り返し教えていったそうです。また、人間関係の上で、落ち込みそうなことがあっても「気にしないでいきましょう」と、フォローしました。決して高望みせず、できることから少しずつ広げていく、そんな自然体でストレスを感じさせない川喜田さんだからこそペアを選ばれたのではと感じられました。



雇用した事業所 株式会社 近鉄旅館システムズ  
就職した人 橋尾真理さん  
知的障害 35歳  
主な業務 ルームメイク、清掃等

ハローワークの紹介で面接へ

近鉄グループの株式会社近鉄旅館システムズは、平成19年に設立された、奈良県下他で4つの旅館ホテルを経営する企業です。そのひとつが、古都奈良の世界遺産を一望できる宿「奈良 万葉若草の宿 三笠」。平成27年から、はじめて障害者を雇用しています。

東大寺の大屋根を右手に見ながら、奈良公園の北東の隅から若草山へ向かって始まる奈良奥山ドライブウェイ。そのゲートを入って登ったところにある奈良 万葉若草の宿 三笠(以下三笠)は、古都奈良を一望できる眺望の美しい旅館です。

三笠を経営する株式会社近鉄旅館システムズが障害者雇用を検討し始めたのは、平成25年に障害者雇用の法定雇用率1.8%から2.0%への改正がきっかけでした。総務部課長の寺田吉久さんは、「改正されれば、我が社も該当する」という意識があり、改正の知らせを知った時から上層部に情報を提供し、内部的な準備を始める一方で、ハローワークに相談をしていました。

そして紹介されたのが、平成27年に行われた奈良県障害者技能競技大会(以下通称アピリンピック)の視察でした。そこで目にしたのは、アピリンピックに出場する競技者の想像以上の技能。その印象について寺田課長



橋尾さんが担当するのは和室

は、「障害のある人が、こんなに仕事ができるのか」ということには感動しました」と振り返ります。続いて、就職を希望する障害のある人と企業をマッチングする障害者就職面接会にも、同社総務部長・経営企画部長の葛井信宏さんと寺田課長が、現場の職員とともに、出かけました。

その場で、応募に来た4名と面接し、同社としては全員雇用する考えで進めたところ、結果的には本人の都合による辞退等もあり、実際に雇用に至ったのが3名、このうち男性1名と、今回紹介する橋尾真理さんが、三笠で働くことになり、平成27年12月からルームメイクや清掃に関する業務に従事しています。

頼もしい先輩の存在

雇用を決定するのは会社ですが、実際には現場の職員と一緒に働くことになります。橋尾さんが働くにあたって、現場でペアを組むようにと指示を受けたのが川喜田瞳さん。「自分で考えてやってください。後はよろし

範囲の業務がこなせるようになった橋尾さんですが、手書きのマニュアルを今でも大切に、いつでも携帯しています。

障害のある人もない人も働きやすい場所

寺田課長は、橋尾さんとは現場で共に仕事に従事することはないですが、出勤のバスの中で一緒です。駅から旅館までの短い時間、仕事とは関係のない軽い会話を交わす楽しいひとときになっています。そんなところも、橋尾さんの働きやすさに繋がっているようです。「相談役を寺田課長にお願ひしたのがよかったのかも」と葛井部長。寺田課長は、「平均年齢が高いせいか2名の若者がきてくれてから、職場に活気が出ました」とにっこり。橋尾さんは、川喜田さんを信頼し、何事にも真面目に仕事に取り組むよく笑う朗らかな人。

三笠は、法改正がきっかけで、障害のある人を雇用されましたが、障害のある人もない人も同様に、生き生きと働くことのできる場所でした。



株式会社近鉄旅館システムズ本社

奈良市川上町728番地の10  
TEL 0742-22-5671

http://www.naramikasa.com 他

「奈良 万葉若草の宿 三笠」の他に、「青蓮寺レクホテル」「権原観光ホテル」「春日山月日亭」を運営。会社全体の従業員数145名。



# 奈良県立西和養護学校

地域に受け入れられながら  
開校10周年を迎えました



旧上牧高校を改修した校舎の隣に立つ、高いシンボルツリーが印象的。スクールバスや送迎の車が出入りできるよう、駐車場が広い。廊下には、手作りの看板が掲げられている。

奈良県立西和養護学校は、北葛城郡上牧町の住宅地に開かれた中にあり、旧県立上牧高等学校を改修して、奈良県で2番目に新しく平成19年4月に開校した知的障害のある児童生徒のための特別支援学校です。小学部から高等部までを合わせた生徒数は268人(平成28年5月1日現在)と県下最大であり、香芝市、大和高田市からの児童生徒を中心として年々増加傾向にあります。

通学エリアはこの他、北葛城郡(上牧町・王寺町・広陵町・河合町)生駒郡(平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町)で学部別の児童生徒数の割合が、小84名、中91名、高93名と、ほぼ同数になっているところが特徴です。ほぼ全員がスクールバスで通学し、6台のバスが登下校を支えています。校区は大阪への利便性から都市部へ通勤するサラリーマン世帯のベッドタウンの側面があり、学校の周辺では、子どもたちが巣立った後の親世代が増えているという地域性があります。遠くからよく見える高いシンボルツ

リーが印象的な校舎は、元高校だけあって体育館や校庭は広々としており、スペースには恵まれています。ただ、高等部に限って言えば、体格が大きくなる時期なので、教室は狭いとみんなが感じています。



旧上牧高校の教室を2分割して教室数を増やしているため、高等部の生徒にとっては狭い教室。



福本正法校長(右)と平井克季教頭(左)

その高等部の時間割は、一般的な教科に加えて、仕事、農耕、木工、家政、流通サービスなど、将来のための働く力や社会性を高めるための授業があり、中でも、流通サービスでは、生徒たちの自信になるようにと、校外へ出て模擬販売活動や清掃活動を行い、実践的なスキルやコミュニケーション能力

を身につける学習を行っています。卒業後は、福祉施設の障害福祉サービスを利用する生徒がほとんどですが、約1割の生徒たちが、就職しています。

## 地域と共に迎えた10周年

開校して10年、この流通サービスの学習を通して、周辺の幼稚園や小学校に生徒が出向いて清掃を行ったり、役場や福祉センター内で農産物の模擬販売を行うなど、地域との交流がたいへん良好に行われています。買い物に出かけるのが大変になりがちな高齢者家庭からは農産物の模擬販売が喜ばれ、「なかなか品物のほうが追いつかなくて」と、平井教頭は微笑みながらも申し訳なさそうです。

また、養護学校の生徒が地域の小学校の児童に清掃の仕方を教えてあげるという取り組みも行われており、「いつもやっているから、小学校で教えることができたんだね」と、生徒たちのやりがいや充実感を育んでいます。地域における取り組みは、自治会をはじめ地域住民への学校側からの働きかけがあつて叶うことであり、それを受け入れる住民のやさしさも感じられました。

開校10年目を迎えて、生徒への公募によるマスコットキャラクターも決定。平成29年6月の10周年記念式典を控え、学内には、ほのかなお祝いムードが漂っています。

## 授業を通じて地域と交流



清掃活動 幼稚園での清掃活動のあと、園児たちからお礼を言われたコマ。



清掃活動 幼稚園での清掃活動のあと、園児たちからお礼を言われたコマ。



小学校で清掃の出前レクチャー。「スクレーパーの使い方はこうするんだよ」と児童の前では立派な先生に変身。



模擬販売活動 学校の近くにある公園にて。近隣のお年寄りには農産物を楽しみにしている人も多い。



模擬販売活動 学校の近くにある公園にて。近隣のお年寄りには農産物を楽しみにしている人も多い。



香芝市総合福祉センター内にて



上牧町役場前にて



靴下の端材を利用した手織りキットは先生の工夫で作られたもの。タワシなどを作って模擬販売している。

## 奈良県立西和養護学校

〒639-0205  
奈良県北葛城郡上牧町下牧1010  
TEL:0745-73-2111  
FAX:0745-32-9877  
<http://www.e-net.nara.jp/sns/seiwayougo/>



開校10周年を記念して生徒への公募から決定したマスコットキャラクター。名称は「ゆりっしー」手作りのパッケージにも早速採用されている。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構奈良支部  
奈良障害者職業センター

所長 石黒秀仁さん

## ジョブコーチ支援とリワーク支援

奈良障害者職業センター  
〒630-8014 奈良市四条大路4丁目2-4 TEL 0742-34-5335 FAX 0742-34-1899  
Email: nara-ctr@jeed.or.jp 開庁日時 8:45~17:00(土日祝、年末年始休暇を除く)



その頃、アメリカでは「援助付き雇用」が制度化され、就職準備が十分でないと思われていたような人でも就職できるようになってきました。それは何故でしょうか？

就職への道は、仕事に必要な技能や準備性を段階を一段ずつ上げるよう訓練していくように考えがちですが、せっかく訓練しても場面が変わると能力が発揮できない人も多く、「だったら、はじめから職場に入って、そこで必要な作業能力や対人能力を引き上げ、本人に合った職場環境を整備したら能力を発揮できる」というのが、「援助付き雇用」の考え方です。我々には目から鱗でした。この「援助付き

### ジョブコーチ支援の始まり

昭和35年に身体障害者雇用促進法が施行されますが、依然として就職が困難であった中、重度の身体障害者等に対する適職判定等を行う機関として、地域障害者職業センターが設置されました。その後、能力開発にも重点が置かれ、昭和60年代から知的障害者等を対象に職業準備訓練を開始しました。一方、時代とともに「障害」の捉え方も進歩し、個人の心身機能・能力だけでなく、環境との相互作用が強調されるようになり、それとともに職業センターの業務も変化してきました。

### 地域障害者職業センターの設置



石黒秀仁所長(同センターにて)

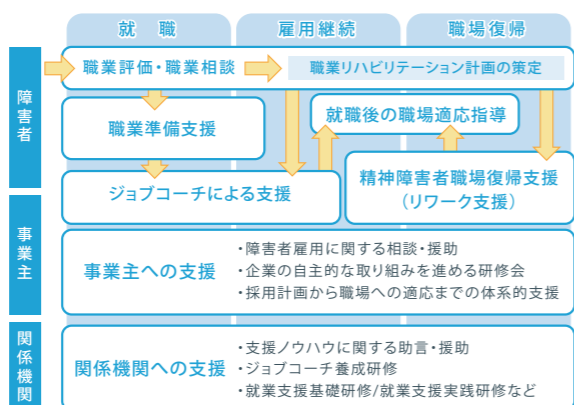
取材の後・・・事業主さんとの出会いは、事業主さんがハローワークに「障害者を雇いたいけど、どんな仕事してもらったらよかわからない」という相談に行かれることが多いです。もちろん、直接の相談もOK。センターは他の支援機関と密に連携し、雇用と職場定着に向けて併走していきます。訓練場面を見たり、実習を受け入れていただくと、障害のある方が随分違って見えると思います。障害といってもその人の特徴のごく一部で、長所に見えることも。ぜひ気軽に職業センターをご活用下さい。

精神障害者の雇用対策の拡充が求められるようになり、職業センターにおいても、「うつ病等で会社を休んでいる人たちへの支援も必要」という状況に対して、職場復帰(リワーク)支援を開始することになりました。リワーク支援は、復職を願う本人、企業、主治医との合意のもと、①生活リズムの構築と体調の自己管理、②基礎体力・集中力・持続力等の向上、③ス

### 精神障害者雇用対策としてのリワーク支援

雇用」の考え方を基にジョブコーチ支援を開始しました。ご本人が努力する部分、環境調整が必要な部分をアセスメントして、障害者に対する支援、職場環境の調整、企業に対する支援を行います。最近では、精神障害のある人が長く勤められるよう、体調の自己管理などの支援にも力を入れています。

#### 《奈良障害者職業センターの業務の概要》



トレス対処法・対人スキル習得などを目的に、作業課題やグループミーティングなど様々なプログラムを実施します。企業に対しても、復帰時の仕事内容や職場環境の改善方法の提案などを行います。現状、大企業の方の利用が比較的多いですが、手続きは簡便で、費用もかかりません。奈良の中小企業の方にもご利用いただきたいです。

## 福祉事業所 レストラン

障害のある人たちが働いている福祉事業所が運営しているレストランを紹介します



## Ohisama Cafe&Shop

(おひさま かふえあんどしょっぷ)



近鉄御所駅前にある大きなオレンジ色のテントが目印のOhisama Cafe&Shopは「人と人」「もの」との「人とももの」をつなぐ地域のアンテナショップとして多くの人に愛されています。カフェでは有機栽培豆を使ったコーヒーなどのドリンクが付いたランチやモーニング、心を込めて作られたこだわりの手づくりパンやケーキなどが楽しめます。また、一番人気のシフォンケーキやクッキー、焼菓子もすべて手づくりで、手みやげ用にラッピングも承ります。おひさまのようにキラキラした笑顔のスタッフがお待ちしております。

### Ohisama Cafe&Shop (社会福祉法人 せせらぎ会)

住所: 奈良県御所市東松本10-3  
定休日: 木曜 祝日  
営業時間: 9:00~17:00(LO16:30)  
電話&FAX: 0745-62-0011  
アクセス: 近鉄南大阪線御所駅より徒歩1分 駐車場5台あり



### メニュー

モーニング	400円~	ランチ	650円~
有機栽培コーヒー	350円	パンセット	550円
ケーキセット	550円		
クリームソーダ	300円 など		

※税込み



## やまとしうるはし、おもしろし



## 国文祭 障文祭 なら2017

9.1 FRI → 11.30 THU  
第32回国民文化祭・なら2017 / 第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会  
全国初の一体開催! 奈良から新たな文化を発信

総合フェスティバル  
《オープニング》  
9月2日(土) 会場: 東大寺大仏殿前  
《フィナーレ》  
大和のまつり(仮称)  
11月25日(土) 会場: 奈良県南部  
閉会式  
11月26日(日) 会場: 奈良県文化会館



- 国際交流事業**  
「NARA・国際交流フェスティバル(仮称)」など、音楽等による交流で多様な日本文化を発信
- 障害者交流事業**  
「さわって楽しむ体感展示」など、障害のある人もない人もともに楽しめるイベントを実施
- シンポジウム事業**  
「フォーラム・NARA」など、様々なテーマでシンポジウムを開催
- 分野別フェスティバル**  
伝統文化・歴史文化・音楽・美術・演劇など、奈良県内全39市町村で多彩な事業を展開

主催: 文化庁、厚生労働省、奈良県、第32回国民文化祭奈良実行委員会、第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、市町村、市町村国民文化祭実行委員会、文化芸術団体  
主協賛: 第32回国民文化祭奈良実行委員会事務局 / 第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会事務局(奈良県地域振興部国民文化祭・障害者芸術文化祭課内) TEL.0742-27-8478  
SNSで最新情報発信中! YouTube イメージソング『やまとしうるはし』公開中! 国文祭 障文祭 なら 検索